

「あいがけ神代カレー」惜しくも第4位!

9月19・20日、横手市で開催されたB級ご当地グルメの祭典第4回B-1グランプリに、神代地域活性化推進協議会(代表佐藤貢一郎さん)の「あいがけ神代カレー」が出場しました。

この大会で優勝すると地域への大きな経済効果が期待できるとあって、北海道から九州まで26団体が出展、来場者が使ったハンを投票してもらおうと、熱のこもった戦いが展開されました。

天候に恵まれた2日間の来場者は、これまで最高の26.7万人となり、「あいがけ神代カレー」ブース前にも長蛇の列が1日中続き、約6000食を提供し大好評となりました。表彰では、横手やきそば、八戸せんべい汁、津山ホルモンうどんに続き、惜しくも4位となりましたが、順位は昨年より着実に上がっており、メンバーは近い将来のグランプリ獲得に手ごたえを感じていました。来年の大会は、神奈川県厚木市が会場で、9月18・19日に開催されます。



スポーツの秋を満喫!

第44回西木地区駅伝競走大会が10月11日に開催され、紙風船館から市役所西木庁舎までの10区間・25kmをタスキでつなぎました。

今年の大会には、一般の部、中学校の部に加え、地元小学生のスポ少チームや市社会福祉協議会、市役所チームが参加し大会を盛り上げました。

レースでは、親子リレーや兄弟リレー、一般の部に参加した親と中学校の部に参加した子が同区間で競ったりといった、この大会ならではの風景があちらこちらで見受けられました。

沿道の声援に笑顔で応える選手も、笑顔で応える余裕が無い選手も、それぞれの目標に合わせて快走し、全チームが無事にゴールしました。



北緯40度秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン

9月27日、第19回北緯40度秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソンが開催されました。

100キロ、50キロ(北秋田市阿仁比立内スタート)の2部門に全国各地から1,620人のランナーが参加。角館町を発する100キロの部は、午前5時の号砲を合図に一齐に角館交流センター前をスタート。選手はそれぞれのペースで国道105号を北上、北秋田市鷹巣地区のゴールを目指し、体力の限界に挑戦しました。

部門ごと優勝者・記録(敬称略)

- ◎100キロ男子の部 ①加山幸治(埼玉県) 7時間23分37秒
- ◎100キロ女子の部 ①田中ゆり子(宮城県) 9時間19分46秒
- ◎ 50キロ男子の部 ①金沢 潔(秋田市) 3時間31分31秒
- ◎ 50キロ女子の部 ①能勢結希(東京都) 3時間43分57秒



初秋の田沢湖を楽しむ 田沢湖ツーデーマーチ

第11回田沢湖ツーデーマーチが10月3・4日の2日間にわたり開催されました。

3日は、湖畔を巡る40km、22km、12km、5kmのコース。4日は生保内川や玉川周辺を中心に巡る30km、20km、10km、5kmのコースを設定。2日間とも時折雨の降るあいにくの天気でしたが、参加者は秋の田沢湖の風景を楽しみながらウォーキングを楽しんでいました。

